# 政策評価調書(個別票1)

### 【政策ごとの予算額等】

政策名		地球温暖化防止等の環境の保全を	行う	評価方式	総合 実績·事業	番号	3–9
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	概算要求額
	当初予算(千円)	1, 148, 450	2, 218, 247	36, 263, 272	17, 647, 174		19, 880, 306
予算	補正予算(千円)	35, 366	35, 887, 985	7, 400, 000			
の状況	繰越し等(千円)	△ 68, 082	△ 321, 200	29, 838, 241			
	計 (千円)	1, 115, 734	37, 785, 032	73, 501, 513			
	執行額(千円)	1, 089, 672	36, 905, 473	72, 515, 095			
	達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	地球温暖化対策をはじめとする環	通分野における環境負荷の低減	を図る。詳細は「施策目	標個票」の道	<b>1</b> り。	
	政策評価結果を受けて 改善すべき点	特になし。					
政策評価結果の予算概算要求等 への反映状況 本の反映状況 本の反映状況 本の反映状況 本の反映状況 本の反映状況 本の反映状況							

### 政策評価調書(個別票2)

【政策に含まれる事項の整理】

政策名	地球沿	温暖化	防止等の環境	竟の保全を行う			番号	3–9			(千円	
					予算	額						
	整理	番号	会計	組織/勘定	項		事	項	23年度 当初予算額	24年度 概算要求額	政策評価結果の反映! よる見直し額合計	
	Α	1	一般会計	国土交通本省	地球温暖化防止等対策費	地球温暖化防	止等の環境の保	<b>保全に必要な経費</b>	16, 804, 320	19, 335, 904		
	Α	2	一般会計	国土交通本省	地球温暖化防止等対策費	地球温暖化防	止対策の技術関	<b>開発に必要な経費</b>	826, 261	531, 091		
対応表に おいて● となって いるもの	Α	3	一般会計	地方運輸局	地方運輸行政推進費	地球温暖化防	止等の環境の係	民全に必要な経費	16, 593	13, 311		
	小計							17, 647, 174	19, 880, 306			
対応表に おいて◆ となって												
いるもの												
									< >	< >		
対応表に									< >			
対応表に おいて〇 となって いるもの									< >			
	小計							< > の内数	< > > の内数			
									< >	< >		
対応表に									< >	< >		
対応表に おいて◇ となって いるもの									< >			
2 3									< > の内数	< > > の内数		
								17, 647, 174 の内数	19, 880, 306 の内数			

# 政策評価調書(個別票3)

## 【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	地球温	温暖化队	ち止等の環境の保	全を行う		番号	3–9	(千円)		
				予算額						
事務事業名	整理番号		23年度 当初 予算額	24年度 概算要求額	増減	政策評価結果の反映に よる見直し額(削減額)		政策評価結果の概算要求への反映内容		
該当なし										
合計	合計									

			1 124 153 21	<u> </u>			(国土	交通省	\$22 <b>-</b> 9)		
施策目標	地球温暖化防止等の環境の保全を行う										
施策目標の概要及び 達成すべき目標	地球温暖化対策をはじめとする	環境政策を	推進するこ	とで、国土	交通分野に	おける環境	負荷の低源	ばを図る	5.		
	施策目標の評価 「おおむね順調である」										
施策目標の評価、達成 状況及び今後の方向性	本業績目標の達成状況はおおむね順調であり、国土交通分野にあの低減を図っていると評価できる。 施策目標の達成状況 及び今後の方向性 及び今後の方向性 を実施している特定輸送事業者の省エネ改善率等の指標に在、各事業者に対し省エネ対策責任者の育成等を行っており、引き施していく。住宅、建築物の省エネルギー化の指標については、現る本基準への適合を建築主の努力義務として定めているが、省エネ基に向けた検討を行う等、改善に向けて対応していく。						ついて 続き着 在、次1	は、現 実に実 世代省エ			
		1-4-			<b></b>			ı			
	47 特定輸送事業者の省エネ	初期値		T	実績値		1	ļ	目標値		
	改善率	-	20年度	21年度	22年度			評価	平成19年 度以降年 年度		
	1 ①特定貨物輸送事業者	_	-2.35%	-1.87%	-2.65%			A-2	前年度比-1		
	②特定旅客輸送事業者	-	+0.53%	-0.34%	-0.79%			B-2	前年度比-1		
	③特定航空輸送事業者	-	-1.54%	-2.01%	-2.22%			A-2	前年度比-1		
	年度ごとの目標値			-	_						
	40 国土大汉八四二年117	初期値			実績値			評価	目標値		
	48 国土交通分野におけるCD	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		百十1川	23年度		
	TO THE PROPERTY OF THE PROPERT	3件	4件	7件	9件	10件		B-3	15件		
	年度ごとの目標値		-	_	_	_		D-3			
		初期値			実績値			評価	目標		
	49 環境ポータルサイトへのア	19年度	20年度	21年度	22年度			пΤΙЩ	23年度		
	クセス件数	平均約5,478 件/月(年		平均約2,647 件/月(年	平均約3,425 件/月(年				1万件/月		
		度平均)	度平均)	度平均)	度平均)			B−1	均)		
	年度ごとの目標値		_	_	_						
	50 建設工事用機械機器による環境の保全	初期値	19年度	20年度	実績値 21年度	22年度		評価	目標値		
	①建設機械から排出される PMの削減量	0.3千t(推定値) (18年度)	0.7 <b>千</b> t	集計中	集計中	集計中		N-2	3.5千t (23年度		
	②建設機械から排出される NOxの削減量	8.3千t(推定値) (18年度)	15.9 <del>千</del> t	集計中	集計中	集計中		N-2	74.0千t (23年度		
	③ハイブリッド型建設機械の 普及台数	200台(21年度)				470台		A-2	1,200台 (26年度		
	年度ごとの目標値		-	_	_	_					
	51 建設廃棄物の再資源化 変 再答源化等変 あび 建設 発	初期値			実績値			評価	目標値		
	率、再資源化等率及び建設発  生土の有効利用率	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	古十1川	24年度		
	①アスファルト・コンクリート塊	98.6%	-	-	98.4%	-	-	A-2	98%以上		
	②コンクリート塊	98.1%	_	-	97.3%	-	_	B-2	98%以上		
	③建設発生木材(再資源化等率)	68.2%(90.7%)	1	_	80.3%(89.4%)	-	_	A-2	77%(95%以上		
	④建設汚泥	74.5%	-	-	85.1%	-	-	A-2	82%		
業績指標	⑤建設混合廃棄物	292.8万t	-	-	9%	-	-	B-2	平成17年度 排出量に対 て30%削減		
अध्यक्षताम् ।अ	⑥建設発生土	80.1%	ı	-	78.6%	-	-	B-2	87%		
	年度ごとの目標値		_	-	_	-	-				
	52 住宅、建築物の省エネル	初期値			実績値			評価	目標値		
	ギー化		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	п₁⁻іш	22年度		
	①一定の省エネルギー対策を 講じ住宅ストックの比率	18%(15年度)	-	_	21%	-	集計中	B-1	31%		
	②新築住宅における次世代 省エネ基準(平成11年基準) 達成率	15%(16年度)	15%	16%	18%	26%	39%	B-1	66%		
	③一定の新築建築物における 次世代省エネ基準 (平成11年基準)達成率	74%(16年度)	87%	85%	83%	85%	集計中	A-2	85%		
	年度ごとの目標値			_	_	_	_				

co 手具本の立り機構力 L 変	初期値			実績値		評価	目標値
53 重量車の平均燃費向上率  (平成14年度比)	14年度	20年度	21年度	22年度		ш	22年度
172.112207	0%	1.4%	4.8%	集計中		A-2	7%
年度ごとの目標値	/	1	1	1		A-2	/
54 モーダルシフトに関する	初期値			実績値		評価	目標
指標	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	計画	22年度
①トラックから鉄道コンテナ輸送 にシフトすることで増加する 鉄道コンテナ輸送量	21億トンキロ増	23億トンキロ増	16億トンキロ増	0.2億トンキロ増	-0.7億トンキロ増	B-1	32億トンキロ増
②トラックから海上輸送へシフト することで増加する海上輸送 量(自動車での輸送が容易な 貨物(雑貨)量)	301億トンキロ	301億トンキロ	287億トンキロ	267億トンキロ	調査中	B-2	312億トンキロ
年度ごとの目標値		-	-	-	-		
55 地区・街区レベルにおける	初期値			実績値		評価	目標値
包括的な都市環境対策に取り	19年度	20年度	21年度	22年度		計画	24年度
組んでいる都市数	3都市	15都市	18都市	25都市		A-2	30都市
年度ごとの目標値		_	_	_		A 2	
56 年度評価における採択案	初期値    実績値					評価	目標値
件の採点の平均値(革新的な  船舶の省エネルギー技術の研	-	21年度	22年度			計画	24年度
究開発に係る指標)		89%	90%			 A-2	80%
年度ごとの目標値	_	_	_			Α-2	$\overline{}$

		区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額
		当初予算(a)	1,149	2,218	36,263	17,647	
		1 1 3 7 F ( C)					
	予算の	補正予算(b)	35	35,888	7,400	0	
	状況	(23年度は1次補正まで記載)					
	(百万円)		0	68	47,456	0	
施策の予算額・執行額等							
【参考】		合計(a+b+c)	1,184	38,174	91,119	17,647	
15 52							
	執行額(百万円)		1,090	36,905			
	羽在由	編載宛(古古田)	68	389			
	五十戌	翌年度繰越額(百万円)					
	不用額(百万円)		26	880			
	יר	の役(ログバ)					

国土交通省政策評価会を開催(平成23年7月7日) 【意見等】 学識経験を有する者の知 指標51-②コンクリート塊について目標値98%以上に対し20年度実績が97.3%となっているためB評価ではない か。 

担当部局名	総合政策局	作成責任者名	環境政策課 (課長 加藤 久喜)	政策評価実施時期	平成23年9月